



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社  
コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 原田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	72,433	△14.8	6,523	△6.5	5,194	△16.2	3,331	△14.6
26年3月期第1四半期	85,005	21.9	6,978	56.3	6,198	82.0	3,901	436.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 9,517百万円 (158.3%) 26年3月期第1四半期 3,684百万円 (813.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	6.04	—
26年3月期第1四半期	7.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,017,688	216,881	21.3
26年3月期	1,018,406	207,454	20.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 216,447百万円 26年3月期 207,007百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	145,500	△8.7	13,100	△13.8	10,100	△22.0	6,000	△24.4	10.89
通期	314,000	△0.0	23,400	△8.6	18,000	△11.4	10,000	8.0	18.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	551,521,094 株	26年3月期	551,521,094 株
27年3月期1Q	353,820 株	26年3月期	352,648 株
27年3月期1Q	551,167,902 株	26年3月期1Q	551,192,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
（継続企業の前提に関する注記） .....	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	8
（セグメント情報等） .....	8
4. 補足情報 .....	10
【第1四半期連結損益計算書（前年同期比較）】 .....	10
【セグメント情報（前年同期比較）】 .....	11
【鉄道運輸成績】 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)のわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られるものの、企業収益が改善するなど、景気は、緩やかな回復基調で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である品川、羽田空港を中心に各事業を推進するとともに、経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、ライフラインを担う企業集団として、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、前期に流通事業等で連結子会社の決算期変更を行った反動もあり、当第1四半期連結累計期間の営業収益は724億3千3百万円(前年同期比14.8%減)、営業利益は65億2千3百万円(前年同期比6.5%減)、経常利益は51億9千4百万円(前年同期比16.2%減)、四半期純利益は33億3千1百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

#### 交通事業

鉄道事業では、羽田空港国際線の発着枠拡大に伴う航空旅客の増加や航空会社と共同でキャンペーンを実施したことなどにより、羽田空港輸送が増加しました。また、川崎大師平間寺の大開帳奉修にあわせた企画を実施するなど、当社線の利用促進に努めたほか、都心方面への通勤旅客の増加などにより、輸送人員は前年同期比で0.8%増加しました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、高架橋耐震補強工事等を進めたほか、大師線で地下化工事を、京急蒲田駅付近の連続立体交差事業で駅舎の改良工事等を進めました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、企業の進出が続く川崎臨海部の需要に対応し、横浜駅(YCAT)～東扇島線を増便するなど、利便性の向上に努めました。

以上の結果、交通事業の営業収益は292億9千6百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は45億3百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

なお、京浜急行バス(株)は、7月に、羽田空港のアクセス向上を図るため、羽田空港～川口駅・川口元郷駅線の運行を開始しました。

#### 不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で、引き続き港町駅前の分譲マンション「リヴァリエB棟」のほか、「オーベルグランディオ横浜鶴見」、「ザ・タワー横須賀中央」の販売を行いました。また、当社および京急不動産(株)は、引き続き「京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘」分譲地などの販売を行いました。

不動産賃貸業では、駅周辺の利便性向上を図るため、神奈川新町駅前に商業施設を開業したほか、品川駅前の京急第1ビルをはじめとしたオフィスビルが順調に稼働しました。

以上の結果、前年同期に分譲マンションの売り上げを計上した反動などにより、不動産事業の営業収益は71億3千3百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は5億5千万円(前年同期比36.1%減)となりました。

#### レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DA I BAおよび京急EXインは、国内のビジネス・レジャー需要や増加する訪日旅客を取り込み、好調に稼働しました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、「天然温泉 平和島」で、好調な羽田空港の深夜早朝時間帯の航空便にあわせた送迎バスを増発したほか、海外の航空会社と共同でキャンペーンを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。また、「ボートレース平和島」の外向発売所等が順調に推移しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は101億9千9百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は10億3千9百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

## 流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、食品売場をリニューアルし、産地にこだわった商品構成にするなど、新規顧客の獲得に努めました。

ストア業では、(株)京急ストアは、神奈川県と共同で、地産地消を推奨する商品を販売するなど、当社線沿線の魅力を伝える商品開発に取り組んだほか、公共料金等の支払代行サービスを導入するなど、利便性の向上を図りました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、セブン-イレブンへ転換した駅売店が順調に推移しました。

しかしながら、前期に連結子会社の決算期変更を行った反動や品川駅高架橋の耐震補強工事に伴うウィング高輪 E A S T の全館休業により、流通事業の営業収益は246億2千9百万円（前年同期比36.8%減）、営業利益は3億8千6百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

なお、(株)京急ストアは、7月に、安針塚駅前に「京急ストア 安針塚店」を開業しました。

## その他

京急建設(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行ったほか、物流センタ建設工事等を進めました。また、(株)京急ファインテックは、鉄道車両修繕工事の受注を増加させるなど、収益の向上を図りました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は88億4千2百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は2千万円（前年同期比78.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加はありましたが、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ7億1千8百万円減少しました。

負債は、長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金および有利子負債の減少などにより、前連結会計年度末と比べ101億4千5百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当による減少はありましたが、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末と比べ94億2千6百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定範囲内で推移していることから、平成27年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績見通しについては、平成26年5月9日に開示した内容を変更していません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が1,655百万円増加し、退職給付に係る負債が553百万円減少し、利益剰余金が1,585百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,349	33,600
受取手形及び売掛金	15,558	14,112
商品及び製品	2,496	2,600
分譲土地建物	92,040	94,563
仕掛品	1,558	1,988
原材料及び貯蔵品	589	658
繰延税金資産	3,235	2,569
その他	3,973	5,257
貸倒引当金	△23	△20
流動資産合計	162,777	155,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	302,532	299,562
機械装置及び運搬具(純額)	37,534	37,342
土地	156,724	156,762
建設仮勘定	250,851	252,900
その他(純額)	6,498	6,528
有形固定資産合計	754,140	753,095
無形固定資産		
のれん	3,427	3,368
その他	6,238	6,109
無形固定資産合計	9,666	9,478
投資その他の資産		
投資有価証券	45,583	55,214
長期貸付金	1,960	1,902
繰延税金資産	6,345	2,815
退職給付に係る資産	14,771	16,770
その他	23,300	23,219
貸倒引当金	△138	△137
投資その他の資産合計	91,822	99,783
固定資産合計	855,629	862,357
資産合計	1,018,406	1,017,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,503	30,141
短期借入金	139,969	138,945
1年内償還予定の社債	20,032	20,025
未払法人税等	3,583	1,212
繰延税金負債	279	—
前受金	4,670	6,996
賞与引当金	1,455	1,525
役員賞与引当金	161	45
その他	28,324	29,109
流動負債合計	238,979	228,001
固定負債		
社債	120,006	120,006
長期借入金	229,897	222,374
繰延税金負債	6,169	6,985
役員退職慰労引当金	851	298
退職給付に係る負債	8,135	7,676
長期前受工事負担金	179,096	187,504
その他	27,815	27,958
固定負債合計	571,972	572,805
負債合計	810,952	800,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	109,778	113,041
自己株式	△265	△266
株主資本合計	197,410	200,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,378	10,551
退職給付に係る調整累計額	5,218	5,223
その他の包括利益累計額合計	9,597	15,775
少数株主持分	447	433
純資産合計	207,454	216,881
負債純資産合計	1,018,406	1,017,688

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	85,005	72,433
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	67,170	57,872
販売費及び一般管理費	10,855	8,038
営業費合計	78,026	65,910
営業利益	6,978	6,523
営業外収益		
受取利息	29	24
受取配当金	228	228
持分法による投資利益	492	142
その他	438	173
営業外収益合計	1,189	569
営業外費用		
支払利息	1,765	1,704
その他	205	194
営業外費用合計	1,970	1,898
経常利益	6,198	5,194
特別利益		
工事負担金等受入額	109	38
特別利益合計	109	38
特別損失		
固定資産圧縮損	109	38
特別損失合計	109	38
税金等調整前四半期純利益	6,198	5,194
法人税、住民税及び事業税	1,369	1,156
法人税等調整額	919	698
法人税等合計	2,289	1,855
少数株主損益調整前四半期純利益	3,908	3,338
少数株主利益	7	7
四半期純利益	3,901	3,331

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,908	3,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	6,173
退職給付に係る調整額	—	5
その他の包括利益合計	△224	6,178
四半期包括利益	3,684	9,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,676	9,509
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益								
外部顧客への営業収益	28,405	5,236	9,325	38,566	3,470	85,005	—	85,005
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	551	1,756	1,020	428	4,326	8,084	△8,084	—
計	28,957	6,993	10,345	38,995	7,797	93,089	△8,084	85,005
セグメント利益	4,489	860	951	579	92	6,973	5	6,978

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった(株)京急エルベフーズ、(株)京急マリーナフーズ、決算日が1月31日であった(株)京急ストア、決算日が2月28日であった(株)京急百貨店、(株)京急ステーションコマース、(株)京急友の会については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、当該子会社が決算日を3月31日に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間は、(株)京急エルベフーズ、(株)京急マリーナフーズは平成25年1月1日から平成25年6月30日までの6か月間、(株)京急ストアは平成25年2月1日から平成25年6月30日までの5か月間、(株)京急百貨店、(株)京急ステーションコマース、(株)京急友の会は平成25年3月1日から平成25年6月30日までの4か月間を連結しております。この結果、当社及びすべての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

この変更により、当第1四半期連結累計期間の「流通事業」の営業収益が11,844百万円、セグメント利益が174百万円、「レジャー・サービス事業」の営業収益が156百万円、セグメント利益が3百万円それぞれ増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	28,740	5,496	9,329	24,291	4,575	72,433	—	72,433
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	555	1,637	869	337	4,267	7,667	△7,667	—
計	29,296	7,133	10,199	24,629	8,842	80,101	△7,667	72,433
セグメント利益	4,503	550	1,039	386	20	6,499	23	6,523

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 【第1四半期連結損益計算書（前年同期比較）】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	85,005	72,433	△12,571	△14.8
II 営業費	78,026	65,910	△12,116	△15.5
1. 運輸業等営業費及び売上原価	67,170	57,872	△9,298	△13.8
2. 販売費及び一般管理費	10,855	8,038	△2,817	△26.0
営業利益	6,978	6,523	△455	△6.5
III 営業外収益	1,189	569	△620	△52.1
1. 受取利息	29	24	△4	△16.7
2. 受取配当金	228	228	△0	△0.1
3. 持分法による投資利益	492	142	△350	△71.1
4. その他	438	173	△264	△60.4
IV 営業外費用	1,970	1,898	△71	△3.6
1. 支払利息	1,765	1,704	△61	△3.5
2. その他	205	194	△10	△5.3
経常利益	6,198	5,194	△1,003	△16.2
V 特別利益	109	38	△71	△65.1
1. 工事負担金等受入額	109	38	△71	△65.1
VI 特別損失	109	38	△71	△65.1
1. 固定資産圧縮損	109	38	△71	△65.1
税金等調整前四半期純利益	6,198	5,194	△1,003	△16.2
法人税、住民税及び事業税	1,369	1,156	△213	△15.6
法人税等調整額	919	698	△220	△24.0
法人税等合計	2,289	1,855	△433	△19.0
少数株主損益調整前四半期純利益	3,908	3,338	△570	△14.6
少数株主利益	7	7	0	0.6
四半期純利益	3,901	3,331	△570	△14.6

## 【セグメント情報（前年同期比較）】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	28,957	29,296	338	1.2
営業利益	4,489	4,503	14	0.3
不動産事業				
営業収益	6,993	7,133	140	2.0
営業利益	860	550	△310	△36.1
レジャー・サービス事業				
営業収益	10,345	10,199	△146	△1.4
営業利益	951	1,039	87	9.2
流通事業				
営業収益	38,995	24,629	△14,365	△36.8
営業利益	579	386	△193	△33.3
その他				
営業収益	7,797	8,842	1,045	13.4
営業利益	92	20	△72	△78.0
合計				
営業収益	93,089	80,101	△12,987	△14.0
営業利益	6,973	6,499	△473	△6.8
調整額				
営業収益	△8,084	△7,667	416	—
営業利益	5	23	18	346.9
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	85,005	72,433	△12,571	△14.8
営業利益	6,978	6,523	△455	△6.5

## 【鉄道運輸成績】

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	7,525	7,550	25	0.3
定期外	11,287	11,468	180	1.6
計	18,812	19,018	206	1.1
	千人	千人	千人	%
輸送人員				
定期	63,255	63,716	461	0.7
定期外	48,662	49,125	463	1.0
計	111,917	112,841	924	0.8